



でんしろうと記念撮影をされる知事

伊藤知事がでんしろうに出会った！

3月16日、「大隅半島南まわりルート」の展望所の除幕式を終えた伊藤鹿児島県知事が、錦江町花瀬でんしろう館を訪れました。知事は、でんしろう館で、地元のうんめもん会の竹の皮弁当で昼食をとり、素朴な田舎料理に舌つづみを打ちました。また、けせん団子やイノシシの燻製など地元の食を楽しみ、うんめもん会の女性達に料理の質問をされるなどして歓談されました。また、でんしろう館の住人「でんしろう」とも対面され、でんしろうと記念撮影をされました。

初めて花瀬を訪れた知事は、島津齋彬のお茶亭跡や花瀬川石畳みの周辺を散策し、自然のすばらしさに感嘆されていました。また城元展望所、城ヶ崎展望所にも立ち寄られ国道448号線沿いの南周リルートを観光ルートとしての可能性を確認されていました。



元気に育てと願いを込めて

豊作を願いながら

1月15日、錦江町内の葉たばこ生産者や鹿児島きもつき農協、たばこ耕作組合などの関係者約90名が参加し、葉たばこの種まきが行われました。

葉たばこは、ここ数年は気象災害などで生産量が少なかったのですが、去年は台風被害も無く、徐々に数量をあげることが出来ました。今年も、計画が達成されるよう祈願しながら、種をまいていました。

また、午後からは、たばこ振興大会が盛大に開催され、生産者や関係者などが熱くたばこ談議に華を咲かせ、大盛況のうちに幕を閉じました。

元気なたばこが育ちますように！



出発式の様子

おいしいばれいしょ

2月16日、南隅地区のばれいしょ生産者や市場関係者など約80名が出席し、安全祈願が行われた後、出発式が行われました。

本町では、今が出荷の最盛期を迎えており、大根占水田ではおなじみとなった、黄色い壁がたくさん出来ています。この黄色い壁は、収穫したばれいしょが入ったコンテナを積み重ねているもので、はじめて見る方は、「何だろう?」と感ずることでしょう。

また、3月6日には、関東方面で春ばれいしょの販売促進会を行い、『春の食材を南国より届ける』となんぐう地区ばれいしょを売り込み、試食をされた方からは「大変おいしい」と好評を博しました。

なんぐう地区ばれいしょの知名度が一段と上がったことでしょう。